

令和 4 年度事業報告書

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 アトム

1.事業実施の成果

新型コロナウイルスの感染状況も年度末になるころには収まる傾向になり、社会情勢を考慮した感染対策へと移行しました。徐々に施設内対策や施設外での活動も制限が解除され、地域での活動範囲も広がり、新型コロナウイルス感染前の地域参加型活動へ移り始めました。しかし、新型コロナウイルスが収まったわけではなく、継続した予防対策が必要とされます。5月より新型コロナウイルスに対する医療の分類が5類に変わり、インフルエンザと同等の医療対応になる予定ですが、感染力の強い新型コロナウイルスには、今までのように向き合っていかなければならないと思っています。

一方、福祉施策に目を向ければ、地域参加型の福祉政策を実践していた平成の頃から令和の時代に入り、福祉環境は後退してきています。

グループホームは、家庭の雰囲気求め、地域の中に少人数（4人）の生活を基本に当初制度化されましたが、現在は、生活単位は20人となり、大規模施設内に設置することも可能になりました。従って、定員20人のグループホームが建設されることにより、以前のような大型施設に近づき、地域社会から益々離れていく傾向が見られます。

私法人は、障害者の生活の場に相応しい環境を求め、地域生活を推し進めてきました。今後も、その思いを変えずに地域支援活動を実践していきます。

(1) 多機能型事業所「アトムフリート」事業

開所当時の生活介護（定員10名）就労継続支援B型（定員10名）で新年度をスタートしました。同時に知的障害者に加え、精神、身体障害者を受け入れの対象としました。年度末3月時点では、知的障害者19名、精神障害者1名、総登録者20名となり定員を満たす状況となっています。活動内容は、食堂「花庵」での調理活動、企業からの受託製品加工作業、創作活動、機能訓練等を行い、利用者に合わせた支援を充実させてきました。

(2) 就労支援事業所「アトムフリートⅡ」事業

開設より3年目を迎え、日中活動の充実を目指し、一般企業への就職活動、市内企業へ施設外就労、施設内では、革製品作成販売、企業からの受託製品加工作業、薪生産販売、食堂「キッチン山ぼうし」での調理作業を行うことで、利用者への工賃アップを図ることができました。年度末3月時点の利用者は、知的障害者18名、精神障害者3名、身体障害者1名、知的・身体障害重複者1名、知的・精神重複者2名、総登録者25名となり定員を超える状況となっています。

(3) グループホーム「オリーブ」「ハピネス」事業

富岡市地区に展開する障害福祉サービス事業所オリーブの事業は、ウエルカムホーム1～6（総定員39名）、高崎市吉井地区の障害福祉サービス事業所ハピネスは、ハピネスホーム1（定員6名）を継続しており、グループホーム事業は、3月現在、総定員数45名で定員を満たしています。相変わらず支援者の確保が難しい状況が続くと伴に経験のある支援者が減少し、将来の管理職育成に苦慮しています。

(4) 障害児・者相談事業所「アトム」事業

現在登録者は64名に達し、内訳は知的障害者57名、精神障害者2名、身体障害者3名、知的・精神重複者2名となりました。管理者を含め3名の支援者で障害者相談事業を進めてきました。今後も登録者の増加に応じて支援者の育成に努めていきます。

(5) 移動支援事業

新型コロナウイルス感染予防対策の中で、余暇活動を進める場所や移動に難しさが生じていましたが、年明け後、新型コロナウイルス対策が緩和され、社会参加が可能となり、種々の余暇活動が再開されました。それにより、利用者の制限されていた行動も改善され、移動支援事業の活動が活発になりました。

年間の移動支援利用者は、毎月60人前後を推移し、利用者延べ数767人となり活動が今後は増えることが期待されます。

(6) 福祉有償運送事業

新型コロナ感染者対策で余暇活動の移送は、減少しましたが、毎日の事業所への通勤、定期的な病院への受診、休日の余暇活動の移送を行ってきました。令和5年になると余暇活動の機会や活動範囲が広がり、移送の必要性が増してきました。今後はコロナウイルス対策を行いながら、更に地域支援活動が増えて行くことになると思いますので、利用者に寄り添った移送事業を展開していきます。

今年度の契約登録者72人、移送延べ人数10,464人となりました。

(7) 富岡市地域生活支援拠点事業

障害者等の重度化、高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、障害者等を地域全体で支えるサービス提供体制の整備を図ることを目的として、市、地域生活支援拠点事業所及び協力事業所が機能を分担しながら地域の実情に合わせて創意工夫により地域の障害者等の生活支援を行うための事業。

(8) 富岡市緊急避難場所の指定

災害時の緊急避難場所として、多機能型事業所アトムフリースト、就労支援事業所アトムフリーストⅡの2カ所を使用できるよう事業所から申請する。近隣の区長及び住民より要望が聞かれたため、できる範囲で事業所を開放する方向で進めてきた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
知的障害者の生活支援事業	ウエルカムホーム 1 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 1	23名	9名/年間を通して
	ウエルカムホーム 2 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 2	23名	6名/年間を通して
	ウエルカムホーム 3 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 3	23名	6名/年間を通して
	ウエルカムホーム 4 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 4	23名	6名/年間を通して
	ウエルカムホーム 5 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 5	23名	6名/年間を通して
	ウエルカムホーム 6 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 6	23名	6名/年間を通して
障害福祉サービス事業所 オリーブ	ウエルカムホーム 1 における生活支援	毎日	ウエルカムホーム 1	23名	9名/年間を通して
障害福祉サービス事業所 ハピネス	ハピネスホーム 1 における生活支援	毎日	ハピネスホーム 1	4名	6名/年間を通して
多機能型事業所 アトムフリート	生活介護 利用者の日中 活動支援 (定員 10名)	毎月～ 金	アトムフリート	8名	10名/年間を通して
	就労継続支援B型 利用者の日中活動支援 (定員 10名)				10名/年間を通して
就労支援事業所 アトムフリートⅡ	就労継続支援B型 利用者の日中活動支援 (定員 20名)	毎月～ 金	アトムフリートⅡ	7名	20名/年間を通して
障害児・者相談 支援事業所 アトム	障害児・者福祉サービス 利用相談	毎月～ 金	アトムフリート 事務所内	3名	64名/年間を通して
移動支援事業 アトムサポート	余暇活動の充実支援	随時	利用者の活動範囲	3名	64名/月
福祉有償運送 事業	地域活動の場を広げる移 送支援	随時	県内	22名	870名/月
知的障害者の 生活支援事業	社会参加促進事業 就労援助	随時	アトムフリート・ アトムフリートⅡ	5名	12名/年間を通して

	余暇活動支援	月 2～4回	活動場所 県内外	15名	20名/月
	文化活動支援	月1回	県内	5名	20名/月
研修活動	県内セミナー、研修	随時	施設内外	25名	25名
見学団体の受 入れ	当施設見学者及び団体の 受入れを積極的に行う	随時	各事業所	6名	30名
富岡市障害者 相談員・自立支 援協議会・富岡 支援学校評議 委員	富岡市障害者相談員、自 立支援協議会・富岡支援 学校評議委員メンバーと しての地域福祉貢献活動	8回	富岡市内	3名	
地域生活支援 拠点事業	緊急に支援が必要な障害 者の受け入れ支援	随時	アトム事業所	6名	1名
緊急時の避難 場所	災害等の緊急時に避難場 所として2カ所の事業所 を開放	随時	アトムフリース アトムフリースⅡ	4名	

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実 施 場 所	従事者 の人数
収益事業	事業が準備できず、実施することはできなかった。			

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

- ① 日時:場所:令和4年5月29日 13:30～15:30 アトムフリース 会議室
- ② 議題:令和3年度事業報告・決算報告の承認、令和4年度事業計画・活動予算の承認、運営規程改正、就業規則改正について

(2) 理事会

第1回理事会

- ① 日時・場所:令和4年5月29日 10:00～12:00 アトムフリース 会議室
- ② 議題:令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・活動予算、運営規程改正、就業規則改正について